

1 テーマ名

経営支援の役割の明確化

2 目的

- ✓ 当面と将来において、普及指導員が経営支援で果たすべき役割を整理する。

3 調査研究の内容

(1) 企業経営体（V層）を育成する際の背景の整理

- ✓ 県庁の資料などをもとに、IV層、V層経営体の具体的なイメージを整理した。

「企業経営体（V層）の育成」及び経営体の階層種別については、広島県ホームページ掲載の「2025広島県農林水産業アクションプログラム」のp17を参照ください。

【参照】 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/life/735477_7240254_misc.pdf

(2) IV層モデル経営体の事例研究

- ✓ ひろしま活力事業を活用し、30aハウスから経営開始した軟弱野菜経営体をIV層モデル経営体として選定した。
- ✓ IV層モデル経営体が、これまでどのような足取りで経営発展を遂げてきたかを意見交換した。
- ✓ 同様な規模で経営開始したIV層モデル経営体と経営に課題があるⅢ層経営体を比較し、モデル経営体が持っているIV層になるための要素を洗い出した。

(3) IV層経営体を育成するための具体的な取組内容の整理

- ✓ 事例研究を通して洗い出したIV層モデル経営体が持っている要素をもとに、IV層を育成するために支援機関が取り組むべき内容を整理した。

4 成果

(1) 企業経営体（V層）を目指す際の背景の整理

- ✓ ただ経営体の組織構造を重層化するのではなく、具体的に何を支援すればよいか整理する必要があることが見えてきた。
- ✓ 常時雇用者を導入して発展につながっているⅢ層と、そうでないⅢ層がありそうなことが見えてきた。

(2) IV層モデル経営体の事例研究

- ✓ IV層モデル経営体は、①高い生産性、②経営管理、人材育成の仕組み、③経営者マインドを持っていることがわかった。

(3) IV層経営体を育成するための具体的な取組内容の整理

- ✓ IV層モデル経営体の事例研究結果を参考に、支援機関が取り組むべき内容を、①人時生産性を指標にした支援、②経営の可視化、具体化を支援（経営者の脳内農業の脱却）、③時機に合わせた外部刺激を支援、と整理した。

5 普及指導活動における活用方法

- ✓ R6 年度に農業技術指導所・病虫害防除所運営指針が改正され、技術担当も経営的な観点を持ちながら普及活動にあたる方向性が盛り込まれる見込みであり、各担当者が経営支援を進める際の参考資料とする。